



嚶鳴同窓会報

第 52 号

編集発行所
〒990-2492
山形市鉄砲町一丁目15-64
山形県立山形西高等学校
嚶鳴同窓会
連絡先 080-7893-1641



未来に受け継がれる

嚶鳴同窓会をめざして

会長 齊藤 明美（昭和54年卒）

嚶鳴同窓会会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。嚶鳴同窓会会長の齊藤明美でございます。

生にとつて目標であり、憧れであり、励みになっていることが、見上げる眼差しから伝わってまいります。

令和7年は、憲政史上初の女性総理大臣が誕生する等大きな変化の年となりました。母校山形西高におきましても、学校創立以来、初めて女性の校長先生が就任され、令和8年度は森美千子校長先生、永岡幹子教頭先生のもと、新たな歴史を刻む年としてスタートいたしました。嚶鳴同窓会といえども、学校と共に歩みを進めてまいれる所存でございます。

年月を経て、存在の大きさを増していく「表彰」ですが、特筆すべきことは、第1回「同窓会長賞」で表彰されました平成12年卒業の浅井恵子さんがJICA海外協力隊・栄養士として活躍の後、現在、議員として同窓会の活動に参加されていることです。

この時代の変化の中において、同窓会が「西高生を応援すること」「母校の発展を願うこと」を一貫して貫き、積み上げてきた歴史があります。その一つが「嚶鳴同窓会表彰」です。創設の経緯を知る機会

力のお陰で、多くの花が咲き、未来に受け継がれる同窓会が築かれてまいりましたことに深く感謝申し上げます。

どうぞ同窓生の皆様には、ご健勝にお過ごしくださいととともに、今後とも同窓会活動へのご理解と、より一層のご支援をいただきますよう、重ねてお願い申し上げます。



山形西高的不易流行 ～ 伝統を繋ぎ、未来を拓く～

校長 森 美千子

この春、山形西高等学校の校長を拝命いたしました森美千子と申します。創立128年を迎える輝かしい伝統校への着任に、その重責を思つて身の引き締まる毎日です。

嚶鳴精神が遺憾なく発揮されております。特に本校3大行事である合唱コンクール・校内総体・嚶鳴祭に注ぐ情熱は、時代を超えても変わらぬ「西高生の姿」であり、伝統の底力を実感いたします。同時に、自らの在り方・生き方に真摯に向き合いながら、目標達成のために、学業や部活動にたゆまぬ努力を続ける姿も本校の大きな誇りです。

先日の同窓会評議員会では、35代目にして「初の女性校長」とご紹介いただき、温かい拍手で迎えてくださったことに深く感激いたしました。役員・評議員の皆様、溢れんばかりの母校愛に触れ、日頃より同窓会の皆様が本校の教育活動に寄せてくださる多大なご支援に対し、この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

現代は生成AIの急速な進化や、予測困難な災害、不安定な国際情勢など、激動の時代を迎えています。教育現場においても、DXの推進やグローバル化・課題解決力の醸成など、待ったなしの改革が進んでいます。少子化が加速する社会を生き抜くため、私たちは「AIに代替されない人間固有の能力」を育むべく、

今年度も2000名の新入生を迎え、活気ある学校生活がスタートしております。これまでの行事や部活動でも、西高生ならではの優れたリーダーシップと、お互いを支え合う

日々の教育活動を進化させ続けなければなりません。本校の生徒たちは、これからの世界において、故郷山形や母校への愛を胸に活躍する「グローバルリーダー」としての素養を確かに持っています。伝統という「不易」の土台の上に、時代の変化という「流行」を捉えた、未来を拓く人材の育成を目指し、教職員一丸となって邁進してまいります。

同窓生の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

※1 「DX（デジタルトランスフォーメーション）」とは、デジタル技術を活用して生活を大きく変革すること。

※2 「グローバル」とは、グローバル（地球規模）とローカル（地域）とを組み合わせる言葉。

令和8年度 総会のお知らせ

多くの皆様のご参加をお待ちしています。

- と き
令和8年11月8日(日)
11時～14時
- と ころ
パレスグランデール
(山形市荒瀬町 1-17-40)
- 参加費
5,000 円(当日集金)
洋食ランチ、お土産付
- 内 容
議 事
アトラクション
・西高今昔物語
(クイズ&在校生探究発表)
・嚶鳴女声合唱団の演奏
- 申し込み締切
9月17日(木)
- 申し込み方法
嚶鳴同窓会ホームページ「出欠フォーム」、はがき、事務局メールいずれかでお申し込みください。



令和 7 年度総会報告

（繋ぐ、広がる、私たちの輪）

爽やかな秋晴れに恵まれた令和 7 年 11 月 9 日、山形市の「パレスグランデール」において、令和 7 年度嚶鳴同窓会総会が華やかに開催されました。会場は久しぶりに再会を果たす方々の歓喜の声と、懐かしい笑顔が至る所で見受けられ、終始温かく賑やかな体感に包まれた時間となりました。

総会のアトラクションでは、生徒作成の学校紹介動画やドキュメンタリー番組の上映が行われました。進化を続ける母校の姿と後輩たちの熱意が鮮明に伝えられ、出席者は頼もしい姿に見入っていました。さらに、嚶鳴女声合唱団とチェリスト・増川大輔さんとの共演による豊かな調べが会場を彩りました。特に合唱団が旧校歌を披露した際には、多くの皆様が往時に思いを馳せ、目を輝かせて感動されている姿が深く心に残りました。

また、本年度の主役である喜寿学年の皆様の席は、一際大きな華やぎに満ちていました。再会を祝して声を掛け合う様

子は、一瞬にして学生時代へとタイムスリップしたかのような輝きを放っていました。会場内に設けられた「制服展示」や「思い出写真展示」のコーナーも大盛況で、当時の思い出話を花を咲かせたり、現物の制服を手に取り記念撮影を楽しんだり、世代を超えた交流が生まれていました。さらに、

（吉田友里恵・大沼友美恵
平成 16 年卒）



寒河江支部総会報告

2 年に 1 度の支部総会を終えて

第 13 回寒河江支部総会を令和 7 年 7 月 12 日、ホテルサンチェリーで開催しました。昭和 26 年卒 1 名、米寿 2 名の方をはじめ、30 名の出席でした。

議事終了後、柴田みどりさん（昭和 52 年卒）より「NPO 法人まごころサービスさくらんぼってどんなところ？地域と共に歩む」のテーマで講演いただきました。理事長

東京支部総会を終えて

（令和 8 年度東京支部総会）

令和 8 年 6 月 14 日（日）ホテル椿山荘東京にて嚶鳴同窓会東京支部総会が開催されました。総会当日は、200 名を超える同窓生にご参加いただき、受付開始時間前から、あちらからこちらからも、はずんだ声が聞こえ、みなさんがこの日を楽しみにしてきてくださったことが伝わってきました。

第一部の総会では、校長の森美千子先生、恩師の板垣利美先生、同窓会長の齊藤明美様に来賓としてご臨席を賜り、祝辞をいただきました。私達準備学年 13 名の担任をしていただいた板垣先生とは、卒業

後 30 年ぶりの再会となり、準備学年みんな大感激。現在は山形の書道界を牽引しておられ、忙しい日々のご様子。会では黒一点と、先生も驚きの状況でしたが、先生のユーモアたっぷりのお話にみんな大笑いでした。

そして、第二部の懇親会では、喜寿を迎える 8 名のお祝いのほか、この春に西高を卒業し、東京で大学生活をスタートした新卒生 2 名の紹介もさせていただきました。懇親会の後半では、仙台でオリエンタルダンス講師・ダンサー、アラブ太鼓奏者として活動中の高川幸世さん（平



成 8 年卒）に、ベリーダンスとダルブッカの演奏を披露していただき、妖艶な高川さんの踊りに会場中が引き込まれ、会は大盛況となりました。西高生としての誇りを感じ、明日への活力となりました。ご協力を賜りました皆様に感謝申し上げます。（平成 8 年卒 櫻井 理恵）

● 嚶鳴同窓会 寒河江支部 総会





音楽部 後藤 千悠
私は高校から合唱を始めました。歌が大好きな私にとって、音楽部で歌う毎日は本当に楽しいです。

「伝統ある西高音楽部に高校生活のすべてをかける。」
昨年部長に選ばれた時、私はそう決意しました。帰宅しても部の未来を考える日々。誰よりも先に行動し、部をまとめる責任。仕事の多さと上手くない練習への葛藤に

軌跡

栄光の軌跡 在校生の活躍

押しつぶされて、大好きなはずの合唱が苦しいと感じる時もありました。それでも諦めずに何度も話し合い、西高音楽部らしい豊かで美しい演奏を創り上げるために全力でぶつかり仲間と共に切磋琢磨した2年半は、私のかけがえのない宝物です。

私達3年次生も、大会に向けた活動が続きます。支えてくださる方々に感謝しながら、合唱の素晴らしさを伝え、納得のいく結果を残せるように最後まで精一杯走り抜けます。

できました。実際に英語での発表にも挑戦し、言葉が通じたときの手応えが印象に残る経験となりました。また、専門家からの鋭い指摘に対し先輩方が応答する姿を見て、研究は実験の結果だけではなく根拠や考え方の妥当性も重要であると感じました。この経験を今後の研究や発表に活かしていきたいです。

国際発表会

「サイエンスキャッスル ワールド」に出場して

放課後実験倶楽部

橘 音羽

昨年12月に国際発表会であるサイエンスキャッスルワールドに参加し、「高温下における水生生物の繁殖への影響」についてポスター発表を行いました。会場は海外からの参加者も多く、参加者が自由に交流できる形式でした。英語でのやり取りは、発表内容の理解や説明に苦戦しました。しかし、身振りや図表を用いて補いながら説明し、やり取りを通じて海外からの参加者とも理解を深めることが

同窓会入会式

令和8年2月27日、西高体育館において令和7年度卒業生の嚶鳴同窓会入会式を開催いたしました。校長・事務部長・教頭・3年次担任団の皆様を来賓としてお迎えし、195名の卒業生の入会をお祝いました。

新入会員代表挨拶として吉田梨乃さんから、これまでの支援への感謝と同窓生

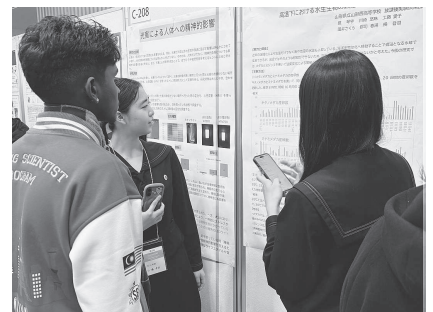
同窓会表彰式

同窓会入会式に続いて、2月27日午後から嚶鳴後援会と嚶鳴同窓会の表彰式が開催されました。

嚶鳴同窓会長賞

【学業成績・人物・特別活動等優秀】
金成 千彩

(美術部 全国高等学校総合文化祭参加・出品)



になることへの決意が語られました。記念品の嚶鳴同窓会バッジは代表の田中あおいさんに、新クラス幹事の委嘱状は代表の中村友奏さんに渡されました。

東京支部の宮川香子支部長が入会式に出席し、東京支部の活動の様子をお話しくださいました。

新入会員の皆様には、今後は同窓生としての活躍を大いに期待しています。

奥出 麻生
(美術部 全国高等学校総合文化祭参加・出品)

特別活動賞

【全国大会3位相当入賞】
相澤 莉望

(登山部 全国高等学校総合体育大会登山大会第3位)

長岡 和花
(登山部 全国高等学校総合体育大会登山大会第3位)

令和7年度(前号未掲載分) 東北・全国大会
(全国高等学校総合体育大会)
・登山部 団体女子第3位
・フェンシング(外部活動) 長岡 陽奈
女子エベ女子フルーレ出場
(全国高等学校総合文化祭香川大会)
・書道部門 出品 白岩 花菜
・美術・工芸部門 絵画 出品 山形県代表 奥出 麻生・金成 千彩
・放送部門・朗読部門 中村 恵以・澁谷 美保
・放送部門アナウンス部門 遠藤 陽向
・新聞部門 参加 メディア創生部 稲村 双葉・松田 心桜
・弁論部門 参加 中村 恵以
(全国高等学校選抜大会)
・弓道部 女子個人出場 野川 千尋
・なぎなた部 個人試合 4回戦進出(ベスト32) 横尾 莉心
(国民スポーツ大会(わたSHIGA輝く国スポ)出場(外部)ボウリング 平田 璃子
(その他の全国大会)
・クッキング部 生活創造コンクール(SSC2025) 努力賞
高校生レシビコンテスト 優秀賞
・書道部 国際高校生選抜書展 団体 東北地区優勝
・放送部 NHK杯全国高校放送コンテスト朗読部門 中村 恵以・澁谷 美保
アナウンス部門 伊藤 小晴・遠藤 陽向

テレビドキュメント部門 中村 恵以・黒沼 咲空
・その他活動
全国高校生エッセイコンテスト 17歳からのメッセージ 川崎 悠珠
銀賞 横沢 咲樹
奨励賞 富樫 佑乃
全国高校生読書体験記コンクール 優秀賞 入選 川崎 悠珠・田中 愛夏
スポGOMI甲子園2025 全国5位入賞
全国高等学校ビブリオバトル2025 松田 心桜
全国高等学校英語スピーチコンテスト 田中 愛夏
全日本新人ボウリング選手権大会 平田 璃子
女子個人出場
(東北高等学校選手権大会)
・登山部 団体女子5位
・なぎなた部 演技競技ベスト8 石澤 悠妃・齋藤 真穂
予選出場 川口 結羅・日塔 杏珠
団体試合 出場
・陸上競技部 円盤投出場 田中あおい
走高跳出場 金来 伶奈
・フェンシング(外部活動) 個人 女子フルーレ6位、女子エベ8位 長岡 陽奈
(東北高等学校新人体育大会・選抜大会)
・陸上競技部 女子1500m 出場 太田 琴海

・なぎなた部
演技競技4位 ベスト8 川口 結羅・日塔 杏珠
寺嶋 末優・横尾 莉心
予選 中澤 艶乃・鎌水 樺乃
団体試合2位 野川 千尋
弓道部 女子個人出場
・ボウリング(外部活動) 女子2人チーム戦第6位 平田 璃子
(国民スポーツ大会東北ブロック大会 兼 東北総合スポーツ大会)
・ボウリング(外部活動) 団体戦2人チーム戦第3位 平田 璃子
少年女子総合第3位
(文化部東北大会)
・音楽部
全日本合唱コンクール東北支部大会 Aグループ 銀賞
NHK全国学校音楽コンクール東北ブロックコンクール 奨励賞
・放送部 東北高校放送コンテスト秋田大会アナウンス部門 出場 遠藤 陽向
テレビキャンペーン部門 出場
朗読部門 出場 田中 千晴・黒沼 咲空
・クッキング
東北ブロック家庭クラブ連盟研究発表大会 ホームプロジェクトの部 優秀賞 亀田 羅未・川原 和香
・その他活動
東北6県中学校英語暗唱 高等学校英語弁論大会 準優勝(第1部1位) 田中 愛夏

在校生の活躍

恩師を訪ねて

大沼 敏美 先生
としみ
平成 11 年～21 年在職

人間ドックから戻られたばかりの大沼敏美先生を、山形城北高校に訪ねました。種類の違うお弁当を用意してくださっており、「それぞれ好きなお弁当を選べたら、全部で何通り？」と質問されました。3 人ともすぐには答えられず、笑い合いながらの「競争戦」で盛り上がったあと、インタビューが始まりました。

校長を務めています。みなさんは「城北Ⅱ女子高」の世代でしょうか。共学化したのは日韓ワールドカップがあった 2002 年ですから、今年で 24 年になります。そして、ちょうど創立 100 周年を迎えました。

Q. 当時の西高生の印象は？
A. 何事にも全力で取り組む姿は青春そのものでした。クラスマッチの開会式では、担任が仮装させられたりもししたよね。私は「慎吾ママ」でした（笑）。好きなことや得意なことを仕事につなげ、活躍している姿を見聞きするにつけ、嬉しく、そして誇りに思っています。

Q. 人間ドックはいかがでしたか？
A. あはは、高校時代の人などと同じで、一夜漬けは人間ドックにも通用しないね（笑）。

Q. 西高を離れてからの経歴は？
A. 西高に 10 年間勤め、その後県教育委員会などを経て、山形南高校の校長として定年退職しました。コロナ禍が始まる頃でしたが、ご縁をいただき、現在は山形城北高校の

Q. 私たち 3 人とも、先生の授業で数学が好きになりました。
A. ほんとに？ 私自身は「授業中によく雑談したなあ」ということくらいしか覚えていません（笑）。日常の何気ない会話や、生徒とのやり取りがとにかく楽しかったです。携帯電話はありましたが、まだスマートフォンのない時代で、人とのつながりは今よりずっと濃かったように思います。

Q. 先生はサッカー部の顧問でしたよね？
A. 愛好会から部へ昇格する年に西高へ異動しました。当時は女子サッカーの黎明期で、村上先生（現・山形中央高校長）と一緒に夢中で取り組みました。卒業生たちは今でも「飲みに行きましょう」と声をかけてくれます。昔話より、今やこれからの話を聞けるのが嬉しいです。

Q. 先生、最近の喜怒哀楽は？
A. 【喜】教えた子たちが親となり、城北高校で再会できたこと。
【怒】いつになっても戦争がなくならないこと。
【哀】西高時代から一緒に過ごしてきた愛猫サスケが、2 月に 19 歳で虹の橋を渡ったこと。

【楽】昨年、一人でスペインを旅したこと。「サスケ スペイン旅行記（1）」で検索すると、読めそうですのでぜひ！

Q. 西高生、同窓生に一言
A. 私自身の人生を彩ってくれた西高には感謝しかありません。今見ているドラマ『銀河の一票』で、「道に迷ったら、明るい方へ。光の見える方へ。」という台詞がありました。人生は迷いの連続ですが、みんなが光の見える方へ進んでいけるよう、私ももう少しだけ、背中を押せる存在でいたいと思っています。



平 成 16 年 卒 吉田友里恵
大沼友美恵
竹松 有希

並木 道

子は親の鏡

平成 8 年 卒 庄 司 未 来

米国の教育学者ドロシー・ロー・ノルトの「子は親の鏡」という有名な詩がある。その一部分を引用すると、

批判ばかり受けて育った子は、人をけなすようになります。
いがみあつ家庭で育った子は、人と争うようになります。
寛大な家庭で育った子は、我慢することを学びます。
心から受け入れられて育った子は、愛することを学びます。……

この詩を毎日見えるところに貼って、自分の子育てを振り返っているが、反省の毎日である。子どもを批判しないようにと思うが、自分の受け入れられる範疇外のことを子どもがしていると、どうしても怒って（批判して）しまう。人を愛する子に育ってほしい、我慢強い子になつてほしいと願うが、私自身、子どもを寛大な心で、心から受け入れていけるだろうか……。

勉強しろ、努力しろ、きちんとしろ、親の言うことを聞け、など、自分にとって都合の良いことばかり求めているいだろうか……。

感受性の強い子どもは、親が安易にとった愛のない言葉や態度を覚えているものだ。

世界のベストセラーである聖書の中に「子どもを怒らせてはいけません。」「あなたがたは、この小さい者たちを、ひとりでも見下げたりしないように気をつけなさい。」「という言葉がある。この子の親として選ばれたことに責任と感謝を持ち、「心から子どもを愛する者」になりたい。

いつまでも輝いて…

卒業生からのお便り

花の輪 嚶鳴の輪 笑顔の輪

昭和36年卒 湯村(多田) 常子

白球が真つ青な空に一直線に飛んでいく。確かにそこに私たちはいた。

私は、いけばな小原流山形支部で支部長を14年間務めた後、小原流本部理事、山形県芸術文化協会常任理事、山形市芸術文化協会副会長を務めております。そして、令和6年には斎藤茂吉文化賞を賜りました。これも皆様のおかげと心より感謝申し上げます。現在のこのような私に一番



全国大会出場(西宮球場)

ら勇氣と元気をいただき深く感謝しております。

驚いているのは、日野顕正先生と嚶鳴ソフトボール部の仲間たちではないでしょうか。あの頃の私が「おしとやかな」生け花の世界に……と。日野先生は東京大学ご卒業後、新任として私たちのクラス担任になられました。頭脳明晰で、都会的な先生にとつて、泥にまみれて田舎者で、持つて

るものといえは熱い情熱だけの私たちにどれだけ手を焼いたことだろうと思います。卒業後もその時々には日野先生から

今、私は決して「おしとやか」ではなかった生け花の世界で湯村社中の監督をしています。お花の技術のみでなく、「生徒一人一人が笑顔で幸せに」の思いを常に持ちながらお花を教えています。これからの美しい豊かな山形にて「花の輪、嚶鳴の輪、笑顔の輪」で元気を届けていきたいです。

今年も暑い夏がきた。高校野球を見ながら思う。確かにそこに嚶鳴の私たちがいる。



日本いけばな芸術協会花展に出展

私にとつての嚶鳴精神

平成20年卒 仲野あかり

20年前の春、憧れの制服を身に纏い、誇らしさと少しの不安を抱えた少女だった自分を、今では思い返すことも少なくなりました。今回は貴重な機会をいただきましたので、西高生時代を振り返りながら、現在までの歩みを綴りたいと思います。

西高での生活は、「仲間と燃えて限界を超える」、そんな思い出として残っています。様々な行事や厳しい学業を経て、一人では乗り越えられない壁も、仲間がいれば先に行けると学びました。

高校卒業後は、東京の大学で経営学を学び、都内の百貨店に就職しました。接客業を通して、マーケティングや経営戦略を学び、2年後に実家である酒蔵に戻りました。

現在は、海外での経験を活かし輸出の仕事に力を入れています。世界で愛される日本酒を目指してこれからも精進していきます。

会にも誘っていただき、また仕事の取材を受ける際は西高の先輩や後輩方に記事を書いていただくなど、つくづく不思議なご縁を感じております。仕事に対して満足することはありませんが、伝統を担う一員として技術を後世に伝えるために、日々精進していきたいと思ひます。



パリでの実演の様子

ちやうど、海外での日本酒の知名度も上がってきて、輸出事業を強化したいタイミングでした。英語の習得(造り手の想いを自分の言葉で伝えられるように)、ワインの表現の勉強(ワイン文化の方に日本酒を理解してもらうようにする)のために、イギリスに渡り、1年間がむしやりに働きました。最初の頃は、言葉も通じない孤独の中で涙を流していましたが、ロンドンで



山形仏壇彫刻部門伝統工芸士として

平成2年卒 芦野(本間) 和恵

ki bor i (きぼり) ブローチというものをつくっています。ki bor i ブローチは山形仏壇の彫刻から生まれたブローチで、材料は同じシナの木を使い、モチーフは仏壇によく使われる鳥や雲から彫りはじめました。彫刻刀で一つ一つ手彫りして仕上げています。

何故このようなことをしているかというと、2008年より山形仏壇の彫刻師をはじめましたが、普段の仏壇彫刻は発注元の仏壇店に納めてし

まうので、彫刻師の私が直接お客様に触れ合う機会がないからです。この商品があることにより、直接お客様からご意見を伺うことができます。また、昨今は従来型の仏壇をお客様が買い求められることが少なくなってきたことで、彫刻の製作機会が限られてきてしましました。いつか来る仕事に向け手を鈍らせないためにも良いと思っています。

この商品を売り出したことにより、2017年に山形エクスレントデザイン賞入賞や

〈維持会費・寄付について〉
新事務局の連絡先や維持会費の
納入方法をお知らせしています。

〈出欠フォーム〉
同窓会の会議や総会の
出欠を連絡できます。

〈問い合わせフォーム〉
同窓会関係の質問やご意見に
メールでお答えしています。

嚶鳴同窓会 ホームページ

ぜひご覧ください!



おうめいどうそうかい
または
山形 おうめい

検索

※「お知らせ」は、アカシアだよりの発行や
総会情報、行事予定など随時更新して
います。

※会報に掲載していた同窓会事務報告・
維持会費納入状況は、「会員専用ペー
ジ」に掲載しています。

※「嚶鳴同窓会について」のコーナーでは
規約や役員名簿のほか、「嚶鳴の歩み」
として西高と同窓会の歴史をご覧いた
だけます。

会報やアカシアだよりは、
表紙をクリックすると全号、
全頁をご覧になれます。

会員専用ページの閲覧は
下記の入力が必要です。
ユーザー名 oumei-m
パスワード oumei

〈外部リンク〉
西高・東京支部・嚶鳴女声
合唱団のホームページに
リンクしています。



山形県立山形西高等学校
Yamagata Nishi High School
Oumei Alumni Association

維持会費・寄付について 出欠フォーム お問い合わせフォーム

TOP お知らせ 会長挨拶 嚶鳴同窓会について アカシアだより 嚶鳴同窓会報 同窓生の活躍 会員専用ページ

会報やアカシアだよりは、
表紙をクリックすると全号、
全頁をご覧になれます。

会員専用ページの閲覧は
下記の入力が必要です。
ユーザー名 oumei-m
パスワード oumei

〈外部リンク〉
西高・東京支部・嚶鳴女声
合唱団のホームページに
リンクしています。

Information ～ご寄贈いただいた資料のご紹介～

昭和31年(西高2回)卒 工藤わか(旧姓 烏兎沼)様より、お祖母様(明治41年高女6回卒 工藤(旧姓 阿部)智恵様)の遺品である貴重な資料をご寄贈いただきました。

行啓記念嚶鳴会雑誌 第6号(明治42年発刊)
嚶鳴会雑誌 第7号(明治42年発刊) 第8号(明治43年発刊)
嚶鳴同窓会雑誌 第1号(大正8年発刊) 嚶鳴同窓会誌(昭和11年発刊)
嚶鳴同窓会名簿(昭和7年度、昭和11年度)
山形高等女学校時代のお写真 7点(寄宿舎や行事、記念日など)



嚶 鳴 同 窓 会 役 員

齊藤 明美	会 長	昭54	田中 裕子	広 報 委 員	昭51	笹森 愛	維持会費委員	平 6
鈴木 京美	副 会 長	昭53	齋藤 良枝	後援活動委員	昭55	須賀 信子	維持会費委員	平 7
石川 由美	副 会 長	昭52	神保 由美	広 報 委 員	昭56	庄司 未来	広 報 委 員	平 8
佐藤 伶子	顧 問	昭30	富樫由美子	広 報 委 員	昭57	瀧本 悠子	広 報 委 員	平 9
鈴木よし子	顧 問	昭43	須藤 祐子	組織検討委員	昭58	岡田真知子	維持会費委員	平10
小笠原悦子	顧 問	昭50	横沢 由実	後援活動委員	昭59	千歳 聡美	組織検討委員	平11
森 美千子	顧問・校長		會津菜穂子	組織検討委員	昭60	浅井 恵子	広 報 委 員	平12
蜂屋 三恵	後援活動委員	昭43	桑山久爾子	組織検討委員	昭61	逸見 千尋	広 報 委 員	平13
辻原 吉子	維持会費委員	昭44	鈴木 淳子	組織検討委員	昭62	菅野 綾	広 報 委 員	平14
佐藤 淳子	組織検討委員	昭45	武田 靖子	広 報 委 員	昭63	佐野亜紗美	広 報 委 員	平15
青木 智子	後援活動委員	昭46	武田由利子	監事・後援活動委員	平元	吉田友里恵	広 報 委 員	平16
奥山 潤子	組織検討委員	昭47	氏家美由紀	維持会費委員	平 2	大沼友美恵	広 報 委 員	平16
中山 恭子	監事・組織検討委員	昭48	三浦 由紀	後援活動委員	平 3	宮川 香子	東京支部長	昭58
浜田 文子	組織検討委員	昭49	鈴木 千尋	広 報 委 員	平 4	田中ふみ子	寒河江支部長	昭44
奥山 圭子	組織検討委員	昭50	菊池 貴子	維持会費委員	平 5	庄司 鈴子	酒田支部長	昭43

ご案内

被爆・終戦80年を越えて ～祈りを込めて伝えたい平和への願い～

山形西高・嚶鳴同窓会共催

被爆ピアノ平和コンサート

81年前、終戦間近の8月6日に広島に原爆が投下されるそのおよそ4ヶ月前、4月15日夜の川崎大空襲によって、学徒動員中の山形県立山形第一高等女学校(現山形西高)の先生と生徒6名の尊い命が犠牲となりました。

広島から、被爆ピアノをトラックに積んで全国を回り、「平和の種まき」活動をしている矢川光則さんが、今年も山形にやってきます。被爆ピアノに込められた核兵器廃絶の願いとともに、学徒動員中の空襲で犠牲になられた方々への鎮魂と平和への祈りを込めて、山形西高でのコンサートを開催することになりました。

ぜひ被爆ピアノの音色を聴きにお越しください。

- ◆日時 令和8年10月13日(火)
開演14時10分～15時30分(開場13時40分)
- ◆会場 山形県立山形西高等学校 体育館(2F)
- ◆内容 被爆ピアノによる嚶鳴女声合唱団の演奏
ピアノ 須藤恵美子 チェロ 増川大輔
- ◆当日は、同窓生の皆様もご鑑賞いただくことができます。お席の準備の都合上、鑑賞希望の方は事前にご連絡ください。複数人の方は代表の方がお申し込みください。

連絡先 神保(菊地)由美(昭和56年卒) 090-1496-5049 まで

- ◆入場料は無料です。

※詳しくは、嚶鳴同窓会ホームページ「お知らせ」のご案内をご覧ください。



ご冥福をお祈り申し上げます

松田(江口)良子	武田(東海林)美津子	横尾(石垣)蓉子	神保(神保)武子	石川(奥山)豊子	内野(工藤)春枝	岡田(伊東)壽子	菅野(菅野)恵子	小野寺(鈴木)直美	高橋(国井)千賀子	佐々木(内山)民	奥山(武田)長子	阿部 信子	敦賀(高野)みち子	荒井(渋谷)文子	仁藤(奥山)真千子	鈴木(奥山)生子	樋渡(樋渡)由紀子	奥山(奥山)千代子	橋村(佐藤)直子
(S 52 西高)	(S 39 西高)	(S 34 西高)	(S 29 南高)	(S 43 西高)	(S 43 西高)	(S 31 西高)	(S 39 西高)	(S 61 西高)	(S 39 西高)	(S 12 高女)	(S 33 西高)	(S 31 西高)	(S 42 西高)	(S 36 西高)	(S 43 西高)	(S 36 西高)	(S 37 西高)	(S 31 西高)	(S 41 西高)

訃報

同窓会顧問の武田美津子様が、令和8年5月にご逝去されました。武田様は、平成21年度から6年間、嚶鳴同窓会会長を務められ、同窓会の発展に寄与されました。ご功績に感謝申し上げ、心よりご冥福をお祈り申し上げます。



編集後記

嚶鳴同窓会報第52号は、ご協力いただいたすべての皆さまのおかげで、完成しました。この場をお借りして、心から感謝申し上げます。そして、今年度から平成16年卒のお二人が広報委員会に仲間入りをしましたー総勢13名になり、広報委員会もさらににぎやかに、楽しく活動しております。これからも、会報を通して、同窓生や在校生の活躍を紹介していきます。今後ともどうぞよろしくお願いたします。



広報委員

○広報委員 (評議員)

大佐 逸 瀧 鈴 富 田
沼 野 見 本 木 樫 中
友 里 千 悠 千 由 裕
美 紗 美 尋 子 美 子
恵 美 恵 美 恵 美 恵
(新) (新) (新) (新) (新)
吉 菅 浅 庄 武 神
田 野 井 司 田 保
友 里 恵 未 靖 由
里 恵 綾 子 来 子 美
(新) (新) (新) (新) (新)

問合せ先 080-7893-1641

(ショートメールにてご連絡ください)

メール: oumei.dousoukai24@gmail.com

事務局長: 伊藤和恵(昭和59年卒/旧職員)

事務局員: 遠藤亜矢(平成18年卒/旧職員)

木曜日14時～16時は学校嚶鳴会館事務室1Fで

維持会費納入等に対応いたします。

同窓会事務局のご案内

同窓会に関する情報(訃報・変更・問い合わせなど)は、学校事務局・職員室ではなく、左記までお知らせください。

宛 先/〒990-2492

山形市鉄砲町1-15-64 山形西高校内

嚶鳴同窓会 会報編集室

「同窓生からのお便り」係

お 願 い/卒業年、住所、電話番号をご記入の上お送りください。

問い合わせ/080-7893-1641

*学校の電話ではなくなりました。

メール/oumei.dousoukai24@gmail.com

同窓会報への
お便りを
お待ちしております



令和 7 年度 嚶鳴同窓会会計決算書

【一般会計】

1 収入の部

(単位：円)

項 目	7年度予算額(A)	7年度決算額(B)	増減(B-A)	備 考
1 繰越金	3,545,292	3,545,292	0	R 6 年度残金
2 維持会費	1,100,000	985,000	△ 115,000	5,000円×197クラス
3 入会費	950,000	975,000	25,000	5,000円×195人
4 会 費	950,000	975,000	25,000	5,000円×195人
5 雑収入	7,708	5,925	△ 1,783	利息
計	6,553,000	6,486,217	△ 66,783	

2 支出の部

(単位：円)

項 目	7年度予算額(A)	7年度決算額(B)	増減(B-A)	備 考
1 総会費	2,000,000	1,648,917	△ 351,083	総会運営
2 支部補助費	300,000	240,000	△ 60,000	支部補助
3 会議費	60,000	61,381	1,381	評議員会・クラス幹事会
4 後援費	150,000	123,500	△ 26,500	活動助成金・全国大会激励金・文化部公演補助
5 表彰・記念品費	600,000	640,700	40,700	生徒表彰・賀寿記念品
6 広告宣伝費	300,000	346,500	46,500	ホームページ制作・広告料
7 慶弔費	50,000	26,460	△ 23,540	弔電代・祝電代・贈答花代
8 印刷発行費	300,000	266,108	△ 33,892	会報・名刺印刷代
9 事務費	650,000	701,809	51,809	事務用品・人件費・光熱水費
10 通信運搬費	200,000	165,973	△ 34,027	インターネット利用料・電話利用料・郵送料
11 旅費交通費	150,000	175,260	25,260	交通費
12 支払手数料	10,000	5,820	△ 4,180	振込手数料・各種手数料
13 諸 費	10,000	8,800	△ 1,200	卒業アルバム購入費
14 予備費	1,773,000	0	△ 1,773,000	
計	6,553,000	4,411,228	△ 2,141,772	

総収入額 6,486,217円 - 総支出額 4,411,228円 = 残金総額(繰越金) 2,074,989円

【特別会計】

(単位：円)

項 目	期首残高	収 入	支 出	期末残高	増 減	備 考
嚶鳴同窓会基本金	7,358,600	7,757,999	0	15,116,599	7,757,999	記念事業費より 繰入 7,741,130円 利息 16,869円
嚶鳴同窓会名簿会計	2,047,812	3,442	0	2,051,254	3,442	利息 3,442円
嚶鳴同窓会記念事業費	7,734,885	6,245	7,741,130	0	△ 7,734,885	利息 6,245円

令和 8 年度 嚶鳴同窓会会計予算書 (案)

【一般会計】

1 収入の部

(単位：円)

項 目	8年度予算額(A)	7年度予算額(B)	増減(A-B)	備 考
1 繰越金	2,074,989	3,545,292	△ 1,470,303	R 7 年度残金
2 維持会費	1,100,000	1,100,000	0	5,000円×220クラス
3 入会費	895,000	950,000	△ 55,000	5,000円×179人
4 会 費	895,000	950,000	△ 55,000	5,000円×179人
5 雑収入	5,011	7,708	△ 2,697	利息他
計	4,970,000	6,553,000	△ 1,583,000	

2 支出の部

(単位：円)

項 目	8年度予算額(A)	7年度予算額(B)	増減(A-B)	備 考
1 総会費	2,000,000	2,000,000	0	総会運営
2 支部補助費	300,000	300,000	0	支部補助
3 会議費	60,000	60,000	0	評議員会・クラス幹事会
4 後援費	150,000	150,000	0	活動助成金・全国大会激励金・文化部公演補助
5 表彰・記念品費	680,000	600,000	80,000	生徒表彰・10年勤続表彰・入会記念品
6 広告宣伝費	350,000	300,000	50,000	ホームページ制作・広告料
7 慶弔費	30,000	50,000	△ 20,000	弔電代・祝電代・贈答花代
8 印刷発行費	300,000	300,000	0	会報印刷代
9 事務費	700,000	650,000	50,000	事務用品・人件費・光熱水費
10 通信運搬費	150,000	200,000	△ 50,000	インターネット利用料・電話利用料・郵送料
11 旅費交通費	150,000	150,000	0	交通費
12 支払手数料	10,000	10,000	0	振込手数料・各種手数料
13 諸 費	10,000	10,000	0	卒業アルバム購入費
14 予備費	80,000	1,773,000	△ 1,693,000	
計	4,970,000	6,553,000	△ 1,583,000	